



▲大山チャンネルが密着取材！

NPO法人地域文化アーカイブスが主催する「第10回全国地域映像コンクール」において、大山チャンネルが取材・制作した「赤松荒神祭」が『審査員特別賞』を受賞しました。

※NPO法人地域文化アーカイブスは総務省が進める地域文化デジタル化事業を積極的に推進する団体です。

「赤松荒神祭」は赤松地区で4年に一度、うるう年に行われる伝統行事です。約1反りで作られた大蛇が集落内を練り歩く様子は圧巻です。大山チャンネルの白石泰志制作スタッフは「映像を評価してもらってうれしい。全国の人々に大山町の伝統文化を知つてもらうきっかけにもなる」と受賞を喜びました。また、受賞を記念して1月1日から大山チャンネルで再放送しますので、ぜひご覧ください。

全国地域映像コンクールで審査員特別賞 受賞
～大山チャンネル～



▲大山そばに次々注文が入ります

島県吳市で11月4日、「くれ食の祭典」が開かれました。この祭典には、毎年出展しており、今年は『大山の恵みからす天狗市』のメンバーを中心とした14人で大山町をPRしました。

当日は天気もよく、多くの来場者でにぎわい、神田のりんごや大山ブロッコリーは、あつという間に売り切れてしましました。手打ちの「大山そば」には、長い行列が切れ間なく続き、予定より多くのそばを販売することができました。

執行役員米子営業本部長の青山隆一さんから、森田町長に

2012 くれ食の祭典

大山の恵み 大人気

11月16日（金）、米子市夜見町に本社を置く大山ハム株式会社（安武文雄社長）から「大山の環境を守るために役立ててほしい」と森田町長が会長を務める「大山国立公園協会」に100万円の寄付が贈られました。贈呈式で安武社長は『大山』は本当にいい名前。大山の名を使う会社として大山に貢献したかった』と話されました。



▶目録を手渡す安武社長（右）



▲大切に活用させていただきます

大山の保護に寄付金

大山ハム株式会社

11月16日（金）、米子市夜見町に本社を置く大山ハム株式会社（安武文雄社長）から「大山の環境を守るために役立ててほしい」と森田町長が会長を務める「大山国立公園協会」に100万円の寄付が贈られました。

贈呈式で安武社長は『大山』は本当にいい名前。大山の名を使う会社として大山に貢献したかった』と話されました。

読書活動に役立てて

「こうぎん鳥取文化振興財団

11月14日（水）、こうぎん鳥取文化振興財団から本町へ、図書カードの寄贈があり、役場で贈呈式が行われました。

同財団は平成4年から県内の教育・芸術文化・スポーツ活動に対して支援活動をしており、事業の一つとして行われている「教育助成」をこのたび、本町が受けました。

当時は山陰合同銀行常務執行役員米子営業本部長の青

山隆一さんから、森田町長に